



水野 洋一 議員

質問①

「町内での、アライグマの被害の実態と防除」について

問

①町内で最初にアライグマの確認・捕獲したのはいつか又、直近5年間の捕獲数について、質問いたします。

②アライグマの生態と、直近5年間の被害について、質問いたします。

③駆除に必要な有効な方法は何か、質問いたします。

答

①アライグマは、元々北海道はもちろん、日本にはいない動物であり、北アメリカにいた動物です。

昭和50年代にテレビアニメーションで取り上げられたこともあり、日本に輸入され、それが野生化したと言われています。北海道での最初の野生化は、道央で飼育されていた



▲ えりも町郷土資料館で撮影

た10頭程度のアライグマが逃亡したのが最初ではないかと言われているようです。

一つ目の質問、「町内で最初にアライグマの確認(捕獲)したのはいつか、また直近5年間の捕獲数について質問いたします」についてですが、大変申し訳ありませんが、最初に確認や捕獲した時期については詳細は確認できていませんが、過去の北海道への報告結果を見ると平成22年頃と思われるようです。

また、令和元年度から5年度までの5年間の捕獲数は260頭で、昨年度は最も多く115頭でした。

答

②「アライグマの生態と直近5年間の被害について質問いたします」についてですが、アライグマは、夜行性で巣は木にあってはいる穴や廃屋、他の動物が掘った穴も使っているようです。中には屋根裏に巣を作る例もあり、手先が器用なので、引き戸を開けて、侵入した形跡もあるようです。

食べ物は小型の動物から果実や野菜なども食べる雑食性で、日本には天敵と言える動物が殆どいない状態です。冬眠はしないようですが、冬場は活動が低下し、春になると平均3〜4頭の子供を産むようです。メスは満1歳から出産可能で、寿命は野外であれば平均5年以上と言われています。

直近5年間の被害についてですが、イチゴや飼料類などを中心に、令和元年度から5年度までで総額約280万円で、年々増加傾向にあります。

答

③現状で有効な駆除手段は、箱罠による駆除と本町が委託しているハンターによる駆除であると思われます。

その他にも巣箱型箱罠もありますが、現状では研究途上で一般販売はされていないようです。

いずれにしても、今後は、駆除作業を進める事はもちろん、アライグマの生態などを含めて周知を図り、被害が軽減できるよう取り進めていきたいと考えています。

問

④アライグマ捕獲の、奨励金が一頭3千円はあまりにも安くないか。

④今後ハンターの方々ともお話をし、増額について前向きに検討したい。



▲ あ ら い ぐ ま 箱 罠



明賀孝子議員

質問①

町道栄岡田線落石対策について

問

昨年6月、質問しました落石対策については、次年度予算決定後に大型土嚢、ブロック、フェンス設置等答弁をいただきました。現状は落石注意看板7カ所と簡易フェンスが数メートル設置されています。この状態では、安全対策として充分でしょうか。今後の工事予定について教えてください。

答

年度内予算で出来る対応として看板、フェンス設置し通行車両に注意喚起しています。通常時に拘わらず、道路維持委託業者に道路と法面状態の目測パトロールを行っています。この状態では安全対策は不十分なので今後フェンスの高さを2メートルとし、

問

ジオサイト、様小裏旧石切場付近まで70メートル延長し設置する予定です。

答

万が一人身事故等が発生した場合の補償、賠償など町としての規定があれば、教えてください。

問

人身事故が発生した場合、道路管理者である町は全国町村会総合賠償補償保険に加入していますので、総合的に保険金が支払われます。現状のフェンスの強度とくに疑問を感じますが。

答

金網は通常の7倍強度があります。あくまで応急対策としての設置であります。



▲ 設置済みのフェンス

問

大型土嚢、ブロック設置に關してはどうですか。

答

現地を調査した結果、法面と道路にスペースがなくフェンスのみの設置となります。昔の石切り場で個人の土地でありますので、地権者と協議して本策を練らせていただきます。

質問②

町道栄岡田線道路舗装について



▲ 木が落ちかけている崖

問

経年の岡田自治会案件でもあります、町道路舗装ですが、かなり傷みも激しく、雪解けが終わる頃にはあちこち凸凹で、中央白線も消えている箇所が目立ちます。何度か補修をお願いしていますが、同じ箇所ではがれたりしています。牧草地帯で大型車も多く通行するので、分割的な補修ではなく全道舗装が必要な時期ではないでしょうか。今後の予定を教えてください。

答

この町道は4356.98メートルあり、道路路面の舗装ひび割れ、はがれ等円滑な通行に支障が生じている事は把握しています。今年度の道路維持工事請負予算を計上しています。

問

予算では、全舗装として長さ150メートルとなっています。



答

現行予算ではこの数字となりその他に傷んでいる部分、穴とかの補修をします。

問

工事はいつ頃になりますか。

答

新年度早期の発注を考えています。

問

この沿線には、防災拠点である岡田生活館、観光拠点であるアイヌ民族文化材のチセ、類似ダム、キャンプ場もあります。観光面、防災面から必要なのは、荒木町長にお聞きします。

答

実は議会前に岡田の方からも要望がありました。私も現地を確認いたしました。道路舗装は150メートル予算ということで確認しています。残りの穴埋めも計画的に早めに進めていきたい。